

# アイリスLetter

## 保護者の皆様へ



2018年7月2日発行

第3号

広島女学院中学高等学校

### 聖書の言葉

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」

マタイによる福音書5章9節

6月11日から16日の1週間は、平和を祈る週でした。その15日金曜日の特別礼拝の講師として、川崎哲（カワサキ アキラ）さんを迎えました。川崎さんは、昨年ノーベル平和賞を受賞した国際NGOネットワークICAN国際運営委員で、NGOピースボート共同代表をされています。

お話の中で、国連で核兵器禁止条約の会議が持たれていた時、被爆者の方がスピーチをなさっている会議場の外で、大国であるアメリカの代表が反対の声をあげている現実があったことを伝えていただきました。小さきものこそが尊いということを感じることができた、貴重な時間でした。中学生の礼拝では、「この平和を創り出す活動を大切にしている、広島を訪れたこともない若い人々が世界中にいる。広島に住む若者も、そのことを知り、歩んでほしい。」とお話しされました。高校生の礼拝では、「意見が違っても話してゆくしかない。ちゃんと話してゆく。その積み重ねが、先になって新しいものを創ってゆく。」とお話しされました。本校のピーススタディーズの一つ一つの活動にちゃんと取り組むことの大切さを痛感し、その意義を強く確信しました。この日は、SGH研究発表会も同時に開催しましたので、放課後には川崎さんを囲む会もありましたが、参加した生徒の真剣な質問に、真摯に答えていただきました。「核兵器があるから仕事がある人はどうすればよいか。」という質問に、「不条理な形で命が奪われる状態は、つくってはいけません。しかし、仕事を転職することはつくっていい。」と応えられ、何を守っていくのかを考えさせられました。また、研究発表会の行事として、パネルディスカッションをしました。川崎さんにはファシリテーターを務めていただき、渋谷教育学園渋谷高校と長崎県立長崎東高校からもパネラーとして生徒を迎え、意見を聞かせていただきました。ひとり一人が平和について考え、自分の歩みを見直す平和を祈る週にすることができたことに感謝します。

高校では、6月20日水曜日に内田樹さんを迎え、文化講演会がありました。多くの著書がある方ですので、先生の本を読まれた方も多いと思います。今、人口減少問題があるのに、現状直視をしていないことを教えていただき、不透明なこの先を、しっかり歩んでいくために、多くのことをお話ししていただきました。

6月2・3日には、県総体がありました。高校3年生の運動部の人は、多くの人がこれをもって部活を引退します。中学からでは6年間の活動に一区切りを迎えました。この一つのことを大切にしてきたこと、ちゃんと取り組んできたことは、生涯の宝になります。

たくさんの活動が、この6月にもありました。多くの出会いをしっかり受け止め、自分らしく歩んでほしいと祈ります。

(校長)

## 平和を祈る週（6/11～6/16）

平和を祈る週特別礼拝講師として、ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）の国際運営委員である川崎哲（あきら）さんをお迎えしました。ICAN は、核兵器禁止条約成立への貢献が認められ、昨年ノーベル平和賞を受賞しました。

川崎さんと核問題との最初の出会いは、お父さんに広島に連れてこられた中2の時。また大学時代に旅行した中東で戦争が起きたことから、反戦平和運動に関わるようになり、卒業後、NGO に所属して世界に出ていくと、日本人としてヒロシマ・ナガサキについて聞かれることが多く、この問題に取り組むようになったそうです。

核兵器禁止条約の採択について、「今までは核を持っている国、強く大きな国が国際ルールを決めてきた。しかしヒバクシャ、市民運動、小国が先導して、122 か国という国際社会の圧倒的多数の賛成により、新しいルールが作られたのは画期的なことだ。NGO 活動で大切なのは人間関係。立場の違う人とも向き合い、ていねいに話を積み重ねていく、そういう姿勢が物事を変えていく力になる。」という話を話して下さいました。



またヒロシマを知らなくても核兵器に反対する人たちがいるのは、今後使われる可能性を考えるから。平和学習とは、昔起きたことを学ぶだけでなく、これからの世界をどうしていきたいか考えるためのものだというメッセージをいただきました。

週間中、中学礼拝委員会・高校宗教委員会では昼の集いで広島・呉を舞台にした映画『この世界の片隅に』を上映しました。

また中学では8・6平和記念式で広島女

学院原爆慰霊碑と卒業生の森本順子さんの被爆体験を伝える原爆絵碑に捧げる千羽鶴を作成しました。

（宗教教育委員会）

## 2018年度 第1回SGH研究発表会

川崎さんの講演に引き続き、SGH指定校3校によるプレゼンテーション・パネルディスカッションが行われました。渋谷教育学園渋谷高校からは「平和学習からの学びと私たちのこれから」、長崎県立長崎東高校からは「平和の副教材を用いて、世界の人々の平和への認識を深め、意識を高められるか。」、本校からは「核なき世界を実現するために、共感の輪を広げる」と題して発表がありました。各校とも、過去の経験をどう学んで継承し、発信するかという共通点がありましたが、そのアプローチにはそれぞれ個性があり、刺激を受けることができました。後半のパネルディスカッションでは、川崎さんから生徒に鋭い質問が出されました。「『核抑止論こそが平和につながる』『そもそも、核兵器に関心がない』という人に、どうすれば考えが伝わりますか」。生徒たちは、その場でしっかりと考え、自分の言葉で答えていました。

（GEC）



## 文化講演会

6月20日、神戸女学院大学名誉教授で哲学者の内田樹（うちだたつる）先生による文化講演会が行われました。4年越しのラブコールで漸く実現しました。演題は「君たちはどう生きるか、でどうですかね」と直前の控え室で決まりました。その内容は背筋のゾットするようなお話、本当に知っておいた方がいいよというお話。「学術的発進力の衰退、人口減、テクノロジーの進化による日本社会の今後の見通しについてお話ししました。センサーを敏感にして、アラームを聞き逃さず、正常性バイアスに騙されず、運のいい人を見つけておいて、非常時を生き抜いてね！」と内田先生がTwitterにまとめてくださっています。そして「みんな、いい子たちですね〜。」とも。軽妙な語りの中に、深く突き刺さるメッセージで、耳の肥えた女学院生を十分満足させてくださいました。



(国語科主任)

## 教育実習について

6月1日から3週間（または2週間）、6名が本校で教育実習生として、授業やHRに参加しました。卒業生、先輩という立場ではなく教師として生徒に接すること、教えることや学びの姿勢を引き出すことの難しさ、その準備の大変さに気付くことができましたと思います。彼女たちの今後の活躍を期待します。

(教育実習係)

## 地区会役員会

6月23日（木）13時30分から中学チャペルで第1回地区会役員会を行いました。PTAの地区会担当副会長（PTA副会長）、校長のあいさつに続き、高校、中学、事務よりそれぞれ報告を致しました。高校からは第1回SGH研究発表会や文化講演会での様子、SGH事業に対するPTAからの補助金の使途等について、中学からは学校で実施している地区会顔合わせ会を今年度は縮小して実施したことや日ごろの生徒の様子等を報告しました。

バザー担当副会長（PTA副会長）からは、文化祭におけるPTAバザーの協力の呼びかけと収集品のひとつであるお菓子に関して、変更点の説明がありました。詳細と収集の指示等につきましては、各地区会の担当者より依頼があると思いますので、皆さまどうぞ協力よろしくお願い致します。

最後に全地区会役員より昨年度の活動報告をして頂きました。およそ半数の地区会では生徒を含めた懇親会を実施していますが、全体的な気づきとして、「参加率がアップするような工夫をする」「懇親会を実施してみる」などが多く聞かれました。

地区会は生徒、保護者ともに学年を超えた地域のつながりができる場所です。また、それぞれの地区における様々な情報や通学時の注意事項など役に立つ情報も得られます。ぜひこのような場を積極的に活用してください。

地区会を支えて下さる役員の方々の皆さまをはじめ、保護者の皆さまの温かいご協力とご支援に感謝しつつ、今年度第1回の地区会役員会を無事に終えることができました。

(高校教頭)



## 保健室だより (3)

～健康診断の結果報告について、

熱中症予防について～

今年度の生徒の健康診断は終了しました。尿検査は、4回にわたり実施されましたが未受診の生徒もいます。内科等で、有料になりますが受診することをお勧めします。また、健康診断の結果は健康診断個人票として、各自に返却します。内科検診後に受診が必要と診断された人は、校医より受診勧告を出していますので、一度かかりつけ医などにご相談ください。

熱中症をおこしやすい季節になってきました。特に睡眠不足、朝食抜き、暑さになっていないという状況などは、熱中症をおこしやすいといわれていますので、日頃からそれらを避けるようにしたいものです。また、水分補給用のボトルなどを準備して、各自熱中症対策をするようにしましょう。

(保健室)

## 心の健康 (3)

7月の学校生活は、月の前半と後半とで大いに違いがあります。前半は期末テストで、後半は夏休みです。状況に見合った子ども達への心配りが要る7月です。

テストでは自分の力が試されます。人は誰でも試されると強いストレスを受けます。ただ、テストによるストレスに対しては勉強しておけばいいわけで簡単なことです。が、勉強はそう楽々と出来るものではありません。

子ども達は、「やらんといけん」と思い、「やろう」とし、「できん!」と投げ出し、「やっぱり、やろう」と思いを変えたり、心が微妙に揺れ動きます。このような時の親の一言は子どもにとってストレスになったり励ましになったりしやすいのです。ほどよい時にほどよく声をかけて、親子でホッと一息入れる短い時間を持つゆとりを、

大人が作りたいものです。後半は夏休みです。

(カウンセラー)

## 生徒の活躍

《中学》

◇中学新体操部

\*広島市中学校新体操選手権大会

団体：Aチーム 1位  
Bチーム 2位



◇中学ソフトテニス部

\*広島市中学校ソフトテニス選手権大会

団体：ベスト8

⇒県大会への出場権獲得

◇中学放送部

\*第38回広島県中学校放送コンテスト

(第35回NHK杯放送コンテスト県予選)

団体：ラジオ番組部門 2位

個人：アナウンス部門

N・Y (2-5) 6位

N・S (3-1) 入選

朗読部門

S・M (3-2) 入選

◇個人の活躍

\*広島市中学校水泳競技選手権大会

個人：K・Y (3-3)

800m自由形 3位

400m自由形 5位

⇒県選手権への出場権獲得

\*第45回小中学生学年別珠算競技大会

広島地区 中学生の部

T・M (3-5)

読上算競技 2位

個人総合競技 3位

⇒県大会出場権獲得

《高校》

◇高校卓球部

\* 第 71 回広島県高等学校総合体育大会  
(卓球競技)

**女子学校対抗** : B 級 準優勝

◇高校新体操部

\* 第 71 回広島県高等学校総合体育大会  
新体操の部

**団体** : A チーム 2 位  
B チーム 4 位  
⇒ A チーム 中国大会へ進出

**個人** : 一部  
Y・M (3-D) 7 位  
M・R (2-E) 8 位  
⇒ 以上 2 名 中国大会へ進出  
二部  
W・S (3-E) 1 位  
T・A (2-C) 2 位

\* 中国高等学校新体操選手権大会

**団体** : 5 位入賞

◇高校水泳部

\* 広島県高等学校総合体育大会 (競泳)

**個人** : T・M (3-D)  
400m 個人メドレー 4 位  
G・R (1-C)  
200m 自由形 8 位

**団体** : 800m リレー 決勝進出  
T・M (3-D)  
G・R (1-C)  
I・A (1-A)  
H・C (2-B)



\* 広島地区選手権水泳競技大会

**個人** : G・R (1-C)  
200m 自由形 6 位  
100m 自由形  
⇒ 県大会への出場権獲得  
S・Y (2-A)  
200m 背泳ぎ  
⇒ 県大会への出場権獲得

◇高校放送部

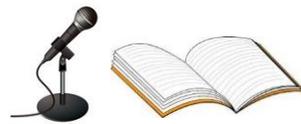
\* 第 65 回 NHK 杯 全国放送コンテスト  
(地区大会)

**個人** : 朗読部門  
N・H (2-B)  
T・K (2-B)  
⇒ 以上 2 名 県大会出場権獲得

\* 第 65 回 NHK 杯 全国放送コンテスト  
(広島県大会)

**個人** : 朗読部門  
N・H (2-B)

審査員奨励賞



**教職員の動向**

○図書館司書教諭の抹香先生のご義父様が  
5 月 26 日にご逝去されました。ご家族の  
上に神様の慰めがございましたようお祈り  
いたします。

○6 月 12 日に英語科のコールベンジャミン  
先生に男児が誕生されました。おめでと  
うございます。Dan (ダン) くんです。ご  
成長の上に神様の豊かな祝福をお祈りし  
ます。

○カウンセラーの塚本先生のご尊父様が 6  
月 19 日にご逝去されました。ご家族の上  
に神様の慰めがございましたようお祈り  
いたします。

## 海外研修合同説明会のご案内

中学・高校の海外研修について合同の説明会を行います。詳しい内容は2学期始業の日にご案内いたします。

日時：9月15日（土）13：00～15：30



### 今月の聖句

「あなたがたも聞いているとおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。」

（マタイによる福音書5章43～45節）

「こんなの絶対無理だ。“隣人を愛し、敵を憎め”なら、きっともっと多くの人が賛成してくれるはず。」そう思っていました。なぜイエスは人々の反感を買うようなことをわざわざ言ったのでしょうか。イエスは、人間が自分を守るためにだれかを敵にせずにはいられない弱さを知っていた。でもそれをやめないかぎり本当の平和はこないことがわかっていたのではないのでしょうか。

平和を祈る週特別礼拝講師、川崎哲さんは核兵器廃絶について、「そんなの無理」という政府の言うことや、世の中で当然とされていることに、「なぜそう言えるのか？」と自分で批判的に考えることが大切だと言われています。

（6月1日 中学放送礼拝より 聖書科T. M）

## 7月行事予定表

1	日	
2	月	期末テスト(高1) 1限8:55～
3	火	(中3,高2・3) 1限8:55～
4	水	(全年) 1限8:55～ 15分休憩
5	木	1限8:55～ 15分休憩
6	金	1限8:55～ 15分休憩 女学院大キャンパス見学
7	土	振替休日(7/16(月)) 高1・2進研模試 高3進研記述模試
8	日	
9	月	自宅学習日
10	火	テスト返却 30分授業 1限8:55～
11	水	
12	木	40分授業 月曜授業 1限8:55～ ⑦7限授業アンケート
13	金	期末テスト素点確認 漢字検定 ⑧8限授業アンケート
14	土	
15	日	
16	月	海の日 おさんぽ女学院
17	火	⑦7限講演会
18	水	
19	木	⑧8限講演会
20	金	土曜授業 4限大掃除 5,6限終業礼拝 LHR
21	土	中2・中3父親母親教室 高3補習
22	日	
23	月	中2 チャレンジキャンプ 勉強合宿, English Adventure 第4回広島模擬国連
24	火	
25	水	
26	木	夏期海外生活体験学習
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

